

牛乳飲んで大きくなーれ 花巻駅前で牛乳をPR



雨ニモマケズ、駅利用者に牛乳をPR

J AやJ A全農いわては6月1日、「牛乳の日」に合わせてJR花巻駅前で牛乳300本を配りました。キャッチフレーズ「いわての元氣はいわての牛乳から」をテーマに、通勤や通学の駅利用者へ牛乳の効能などが書かれたパンフレットとともに、200mlの県産牛乳を「牛乳月間です」「牛乳を飲んで高校総体に備えましょう」と声をかけ配布しました。牛乳を受け取った小瀬川晴南さん(17)は「今日が牛乳の日だと初めて知った。牛乳を飲んで今日のバドミントンの試合に備えたい」と話しました。同イベントは、水沢駅や一ノ関駅など、県内3カ所で行われました。

芝居・歌・舞踊を楽しむ 組合員のつどい「梅沢富美男ふれあい歌謡ショー」



女形として美しい舞踊を披露した梅沢富美男さん

J Aは6月20日と21日の2日間、組合員のつどい「梅沢富美男ふれあい歌謡ショー」を花巻市文化会館と北上市文化交流センターさくらホールで開きました。広域合併10周年記念事業の一つとして開き、各会場共に昼と夜の2回公演を行いました。花巻会場1827人、北上会場1651人が来場しました。梅沢富美男さんは、家の光とJ A貯金をテーマにしたユーモアたっぷりの芝居「家の光」のほか、ヒット曲「夢芝居」や「白神恋唄」などをはじめとする全5曲を披露。公演の後半には、女形として美しい舞踊を披露し、来場者を魅了しました。

白ワイン冷やしてどうぞ 「五月長根葡萄園」出発式



出発式でテープカットをする関係者

(株)エーデルワインは5月31日、同社前(花巻市大迫町)で2017年産の白ワイン「五月長根葡萄園」の発売式を行いました。社員や生産者、J A関係者など約50人が出席し、藤館昌弘代表取締役社長は「日頃から丁寧に栽培している農家さんのおかげで長年販売できている」とあいさつ。テーブルカットのあと、参加者全員でワインを積んだ車両を見送りました。ワインは、同町でエコファーマー認定農家が栽培した「リースリング・リオン」を使用。爽やかな香りで、キレのある酸味と果実味のあるバランスのとれた味わいに仕上がっています。

支店に集い交流深める 各支店で「ふれあいプラン」がスタート



カラオケ大会やさまざまな料理を楽しむ組合員たち

各支店で、組合員とその家族、役員が集まり交流を深める「ふれあいプラン」が始まりました。地元農畜産物の振る舞いや伝統芸能の披露など、地域の特色を生かし工夫を凝らした内容で、各支店が夏まつりやビアガーデンを開催。11月まで行われる予定です。6月23日には、全支店のトップを切り西和賀地域で開催。J A職員が肉を焼くなどして約110人の組合員たちをもてなしたほか、農家組合や女性部が料理を持ち寄り、各家庭の味を楽しみました。カラオケ大会では参加者の熱唱ぶりに会場が盛り上がり、たくさんの笑顔で溢れました。

旬の地元野菜や食材ズラリ

タヴェルナ収穫祭



地元の旬な食材を使った料理が並びました

イタリアンダイニング「ラ・タヴェルナ」(北上市本通り)は毎月第1日曜日、地元農家と県産の野菜や食材を使った料理をビュッフェ形式で提供する「タヴェルナ収穫祭」を開きます。収穫祭は一昨年から開催し、今年度からは旬の野菜とその調理方法を知ってほしいとの思いから毎月開きます。初回の6月3日は、13農家のアスパラガスやトマト、ホウレンソウなどの食材を使い、サラダやピザ、パスタなど約40品が並びました。来店した約80人は、料理に添えられた食材を作った農家の名前を見ながら一品一品手に取り、旬の地元食材に舌鼓を打ちました。同市の農家である高橋賢さんは「北上市を食文化豊かな町にしたい。農家やレストランだけでなく、お客さんと一緒になって盛り上げていきたい」と力強く話しました。

花バスケットを学ぼう 女性部宮野目支部フレッシュ部



花の特徴について、講師(左)の話を聞く参加者たち

女性部宮野目支部フレッシュ部は6月9日、宮野目支店(花巻市東宮野目)で部会員と地域住民約25人がハンギングバスケット作りに挑戦しました。参加者はハンギングバスケットに向く花の種類や土、花の入れ方などを聞き、自分好みのバスケットを作りました。講師や参加者同士で作った作品を見せあい、交流を楽しみました。女性部員から誘われ姉妹で参加した岡本恵子さんは「ガーデニングをやっているので勉強になった。交流しながらできて楽しかった」と話しました。フレッシュ部の次回の活動は、冬に子どもたちも簡単に作れるバレンタイン料理教室を行う予定です。